

名古屋の中・高校生の卒業後の進路

（「卒業後の状況調査」）

I-1 中学校卒業業者数は長期的に減少傾向

平成19年度に名古屋市内の中学校を卒業した者は前年度に比べ361人増加し、平成15年度以降4年ぶりに2万人を超える20,094人となった。中学校卒業業者は、平成10年度には前年度に比べ1.9%、平成14年度には同0.2%、そして今年度は1.8%増加したが、長期的には減少傾向にある。

男女別にみると、男子が3年ぶりに1万人を超える10,128人となり、前年度に比べ185人（1.9%）増加し、女子は9,966人で176人（1.8%）増加した。〔付表1-1、図1-1、第1表〕

次に、進路別にみると、高等学校等への進学者が19,586人（構成比97.5%）で最も多く、就職者（就職進学者及び専修学校等入学者のうちの就職者は除く）が192人（同1.0%）、専修学校等入学者（就職者を含む）が45人（同0.2%）、「上記以外の者」が270人（同1.3%）となっている。〔第1表〕

卒業後の進路について10年前と比較すると、進学者の割合は平成9年度の96.6%から平成19年度の97.5%へと0.9ポイント上昇する一方、就職者の割合は1.6%から1.0%へ0.6ポイント、専修学校等入学者の割合は0.4%から0.2%へ0.2ポイント低下した。また、「上記以外の者」の割合は1.4%から1.3%へと0.1ポイント低下した。

〔図1-2、第1表〕

付表1-1 中学校卒業業者数の推移

年 度	総 数	男	女
平成 元年	32,393	16,679	15,714
2年	29,988	15,357	14,631
3年	28,377	14,401	13,976
4年	26,993	13,796	13,197
5年	26,363	13,547	12,816
6年	24,936	12,737	12,199
7年	24,094	12,430	11,664
8年	23,530	11,996	11,534
9年	23,335	11,846	11,489
10年	23,789	12,189	11,600
11年	23,105	11,872	11,233
12年	22,159	11,323	10,836
13年	21,394	10,777	10,617
14年	21,428	10,911	10,517
15年	20,741	10,697	10,044
16年	19,905	10,070	9,835
17年	19,729	9,988	9,741
18年	19,733	9,943	9,790
19年	20,094	10,128	9,966

図1-1 男女別中学校卒業業者数の推移

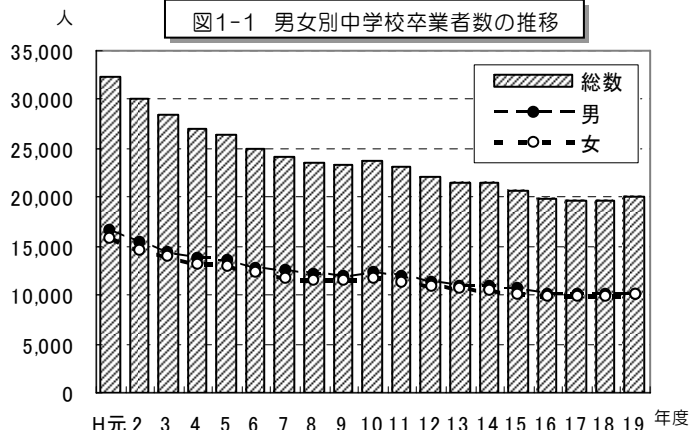
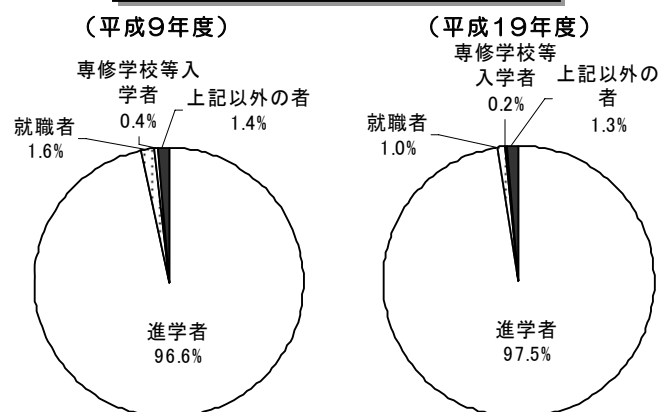


図1-2 中学校卒業業者の進路別割合



※ 「上記以外の者」とは、家事手伝いをして
いる者、外国の高等学校に入学した者又は進学
者、就職者、専修学校等入学者、死亡・不詳の
各項目に該当しない者で進路が未定であること
が明らかな者である。いわゆる NEET（ニート）
も「上記以外の者」に含まれる。

I-2 進学入学状況 — 進学率は高い水準を維持

卒業生総数に占める高等学校等への進学者の割合（進学率）は、97.5%で前年度に比べ0.5ポイント上昇した。

男女別では男子97.3%、女子97.7%で、進学率の男女格差は前年と変わらず、0.4ポイントであった。〔付表1-2、第1表〕

参考までに、愛知県では高等学校等進学率が97.2%で前年度に比べ0.2ポイント上昇、男女別では男子が96.8%、女子が97.7%となっている。また、全国では高等学校等進学率が97.8%で前年度に比べ0.1ポイント上昇、男女別では男子が97.6%、女子が98.1%となっており、全国、愛知県共に男女の進学率が上昇していることがわかる。〔付表1-2、図1-3〕

次に、進学先別にみると、「高等学校本科」への進学者数が19,367人で、進学者総数の大部分（98.9%）を占めており、そのうち、「全日制」が18,450人と進学者総数の大半（94.2%）を占めている。

〔付表1-3〕

付表1-2 中学校卒業生の進学率の推移

(%)

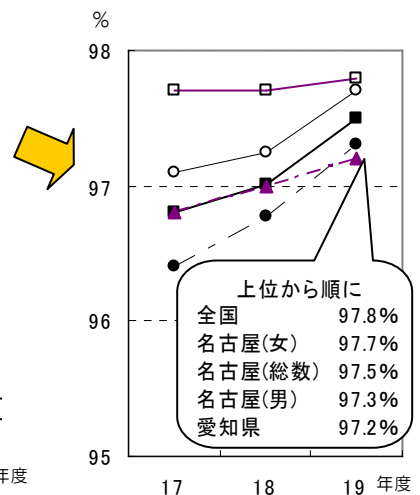
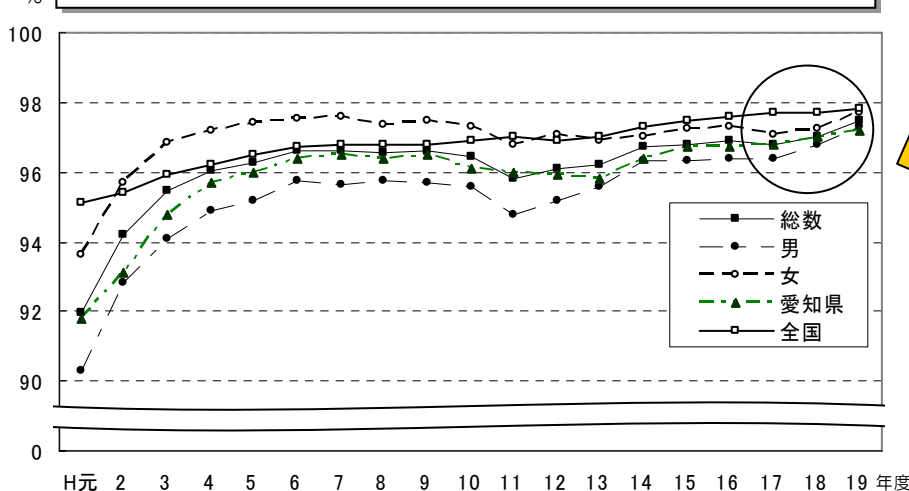
年度	名古屋市			愛知県			全国		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
平成元年	91.9	90.3	93.6	91.8	89.8	93.8	95.1	94.0	96.2
2年	94.2	92.8	95.7	93.1	91.3	95.0	95.4	94.3	96.4
3年	95.5	94.1	96.9	94.8	93.1	96.6	95.9	94.8	96.9
4年	96.0	94.9	97.2	95.7	94.4	97.0	96.2	95.3	97.2
5年	96.3	95.2	97.4	96.0	94.8	97.3	96.5	95.6	97.5
6年	96.6	95.8	97.5	96.4	95.3	97.5	96.7	95.8	97.6
7年	96.6	95.6	97.6	96.5	95.4	97.6	96.8	95.9	97.8
8年	96.5	95.8	97.4	96.4	95.5	97.4	96.8	95.9	97.7
9年	96.6	95.7	97.5	96.5	95.4	97.6	96.8	96.0	97.8
10年	96.4	95.6	97.3	96.1	95.1	97.2	96.9	96.1	97.7
11年	95.8	94.8	96.8	96.0	95.1	97.1	97.0	96.3	97.7
12年	96.1	95.2	97.1	95.9	95.0	96.9	96.9	96.3	97.6
13年	96.2	95.6	96.9	95.8	95.0	96.6	97.0	96.5	97.5
14年	96.7	96.3	97.0	96.4	95.9	96.9	97.3	96.9	97.7
15年	96.8	96.3	97.2	96.7	96.2	97.1	97.5	97.2	97.8
16年	96.9	96.4	97.3	96.7	96.2	97.2	97.6	97.3	97.9
17年	96.8	96.4	97.1	96.8	96.4	97.3	97.7	97.4	98.0
18年	97.0	96.8	97.2	97.0	96.6	97.4	97.7	97.4	98.0
19年	97.5	97.3	97.7	97.2	96.8	97.7	97.8	97.6	98.1

注）昭和59年から通信制を含む。

付表1-3 進学先別進学者数（平成19年度中学校卒業生）

区 分	実 数			構 成 比（％）		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	19,586	9,853	9,733	100.0	100.0	100.0
高等学校本科	19,367	9,701	9,666	98.9	98.5	99.3
うち）全日制	18,450	9,190	9,260	94.2	93.3	95.1
うち）定時制	299	150	149	1.5	1.5	1.5
うち）通信制	618	361	257	3.2	3.7	2.6
高等専門学校	41	36	5	0.2	0.4	0.1
特別支援学校高等部本科	178	116	62	0.9	1.2	0.6

図1-3 中学校卒業生の進学率の推移〔名古屋市（総数・男・女）、愛知県、全国〕



I-3 就職状況 — 就職者の半数以上が第三次産業へ

就職者総数(就職進学者、専修学校等入学者のうちの就職者を含む)は197人で、前年度に比べ1人(0.5%)増加、卒業生総数に占める就職者の割合(就職率)は1.0%で、前年度と同じ割合となった。

男女別にみると、男子の就職者総数は144人で、前年度に比べ3人増加、就職率は1.4%で、前年度と同じ割合となった。女子の就職者は53人で、前年度に比べ2人減少、就職率は0.5%で前年度と比べ0.1ポイント低下した。

[付表1-4、図1-4、第1表]

就職者を産業区分別にみると、第三次産業の103人(構成比52.3%)、次いで、第二次産業の84人(同42.6%)となっている。男女別では、男子は第二次産業が74人(同51.4%)、女子は第三次産業が41人(同77.4%)となっており、男女の就職先の特徴が見られる。[付表1-5]

付表1-4 中学校卒業者の就職者、就職率の推移

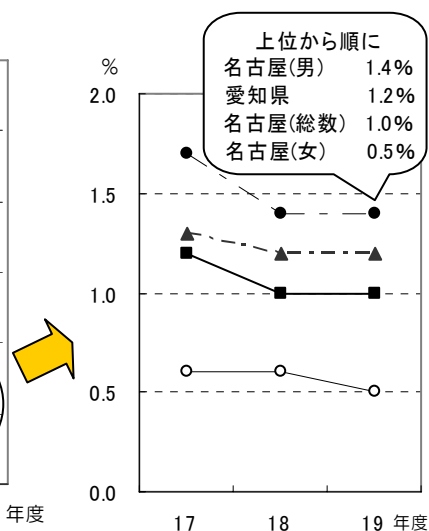
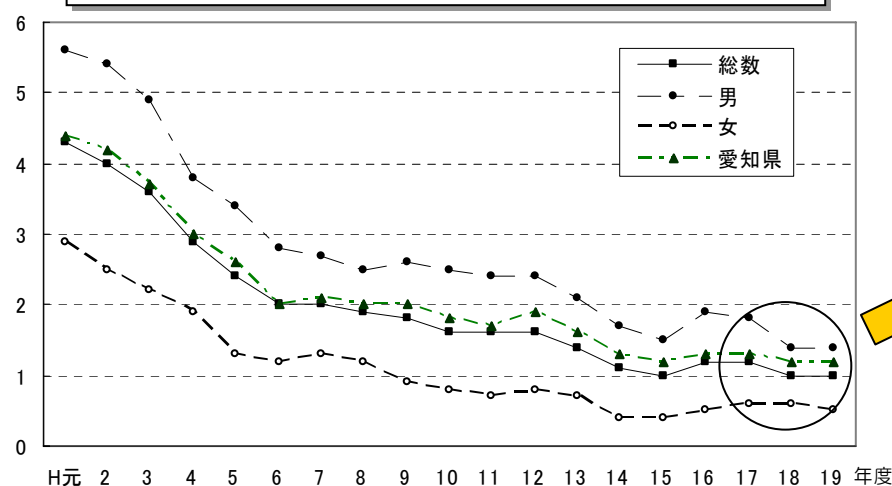
年 度	名 古 屋 市						愛 知 県
	実 数			就 職 率 (%)			就 職 率 (%)
	総 数	男	女	総 数	男	女	
平成元年	1,387	937	450	4.3	5.6	2.9	4.4
2年	1,197	824	373	4.0	5.4	2.5	4.2
3年	1,019	711	308	3.6	4.9	2.2	3.7
4年	778	530	248	2.9	3.8	1.9	3.0
5年	620	456	164	2.4	3.4	1.3	2.6
6年	508	360	148	2.0	2.8	1.2	2.0
7年	486	340	146	2.0	2.7	1.3	2.1
8年	437	304	133	1.9	2.5	1.2	2.0
9年	410	312	98	1.8	2.6	0.9	2.0
10年	391	302	89	1.6	2.5	0.8	1.8
11年	369	290	79	1.6	2.4	0.7	1.7
12年	353	267	86	1.6	2.4	0.8	1.9
13年	300	230	70	1.4	2.1	0.7	1.6
14年	234	187	47	1.1	1.7	0.4	1.3
15年	202	159	43	1.0	1.5	0.4	1.2
16年	241	190	51	1.2	1.9	0.5	1.3
17年	237	177	60	1.2	1.8	0.6	1.3
18年	196	141	55	1.0	1.4	0.6	1.2
19年	197	144	53	1.0	1.4	0.5	1.2

付表1-5 中学校卒業者の産業(3区分)別就職者数

産 業 (3 区 分)	実 数			構 成 比 (%)		
	総 数	男	女	総 数	男	女
就 職 者 総 数	197	144	53	100.0	100.0	100.0
第 一 次 産 業	2	1	1	1.0	0.7	1.9
第 二 次 産 業	84	74	10	42.6	51.4	18.9
第 三 次 産 業	103	62	41	52.3	43.1	77.4
そ の 他	8	7	1	4.1	4.9	1.9

注)「その他」とは、分類困難なもの、不明なものをいう。

図1-4 中学校卒業者の就職率の推移〔名古屋市(総数・男・女)、愛知県〕



Ⅱ- 1 高等学校卒業者数は20,427人で6年連続の減少

平成 19 年度に名古屋市内の高等学校を卒業した者は 20,427 人で、前年度に比べ 804 人（3.8%）減少した。高等学校卒業者は平成4年度から減少傾向にあり、今年度も前年度に引き続いて減少し、総数は平成3年度（33,545人）の60.9%となっている。

男女別にみると、男子は1万人を割り込む9,887人となり、前年度に比べ525人（5.0%）減少し、女子は10,540人で279人（2.6%）減少した。〔付表2-1、図2-1、第2表〕

次に、進路別にみると、大学・短期大学等への進学者が12,164人（構成比 59.5%）で最も多く、次いで専修学校等入学者（就職者を含む）が3,921人（同 19.2%）、就職者（就職進学者及び専修学校入学者を含まない）が3,380人（同 16.5%）、「上記以外の者」が753人（同 3.7%）となっている。〔第2表〕

卒業後の進路について10年前と比較すると、進学者の割合は平成9年度の50.8%から平成19年度の59.5%へと8.7ポイント上昇する一方、就職者の割合は19.3%から16.5%へ2.8ポイント低下し、専修学校等入学者も24.3%から19.2%へ5.1ポイント低下した。また、「上記以外の者」の割合は5.6%から3.7%へと1.9ポイント低下した。

〔図2-2〕

付表2-1 高等学校卒業者数の推移

年度	総数	男	女
平成 元年	32,595	16,077	16,518
2年	33,142	15,922	17,220
3年	33,545	16,202	17,343
4年	32,041	15,238	16,803
5年	30,153	14,321	15,832
6年	28,764	13,446	15,318
7年	27,245	12,628	14,617
8年	26,420	12,202	14,218
9年	24,788	11,541	13,247
10年	23,888	11,325	12,563
11年	22,874	10,691	12,183
12年	22,567	10,542	12,025
13年	23,178	11,048	12,130
14年	22,298	10,698	11,600
15年	21,912	10,621	11,291
16年	21,710	10,500	11,210
17年	21,692	10,732	10,960
18年	21,231	10,412	10,819
19年	20,427	9,887	10,540

図2-1 男女別高等学校卒業者数の推移

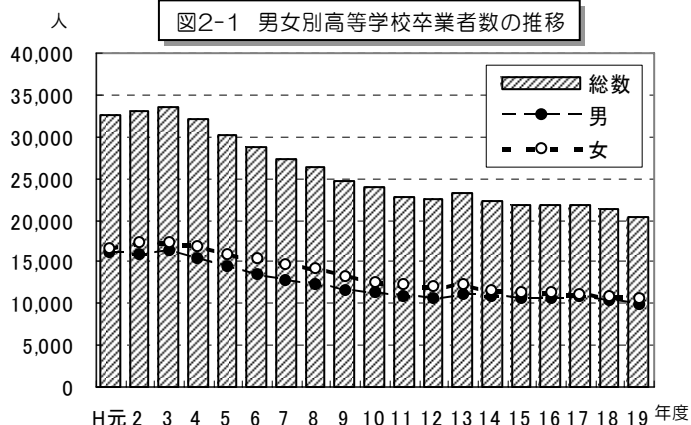
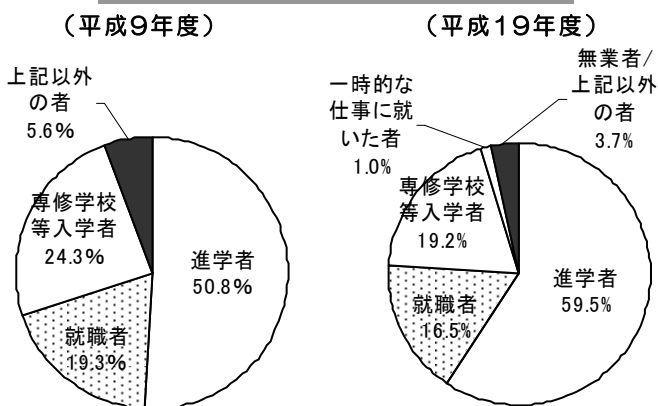


図2-2 高等学校卒業者の進路別割合



※「上記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学に入学した者又は進学者、就職者、専修学校等入学者、一時的な仕事に就いた者、死亡・不詳の各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者である。いわゆるNEET（ニート）も「上記以外の者」に含まれる。

Ⅱ-2 進学入学状況 — 男女とも半数以上が進学

卒業生総数に占める大学・短期大学等への進学者の割合（進学率）は、59.5%で、前年度に比べ0.7ポイント上昇した。

男女別では男子55.9%、女子63.0%で、進学率の男女格差は前年度に比べ増加し、7.1ポイントであった。

[付表2-2、第2表]

参考までに、愛知県では大学・短期大学等進学率が58.4%で前年度に比べ0.7ポイント上昇、男女別では男子が57.4%、女子が59.5%となっている。また、全国では大学・短期大学等進学率が52.8%で前年度に比べ1.6ポイント上昇、男女別では男子が51.4%、女子が54.3%となっており、全国、愛知県共に男女の進学率が上昇していることがわかる。

[付表2-2、図2-3]

次に、進学先別にみると、「大学（学部）」への進学者数が11,136人で、進学者総数の大部分（91.5）%を占めている。男女別では、男子の98.8%、女子の85.5%が「大学（学部）」への進学者となっている。「短期大学（本科）」への進学者は1,023人で、進学者総数の8.4%を占めており、そのうち女子が959人と大半（93.7%）を占めている。

[付表2-3]

付表2-2 高等学校卒業生の進学率の推移

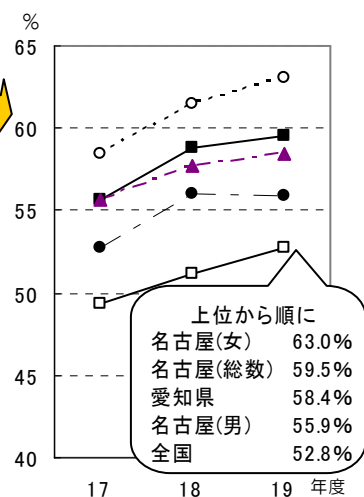
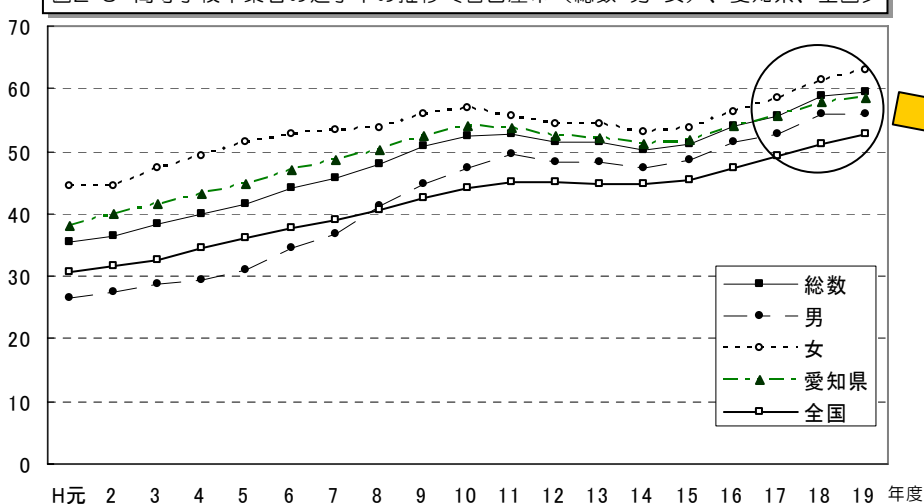
(%)

年 度	名 古 屋 市			愛 知 県			全 国		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
平成 元年	35.5	26.4	44.4	37.9	31.8	43.8	30.6	23.8	37.3
2年	36.3	27.6	44.3	39.8	33.8	45.6	31.7	24.6	38.7
3年	38.4	28.8	47.4	41.4	35.0	47.6	32.7	25.2	40.2
4年	39.9	29.5	49.3	43.3	36.1	50.2	34.5	26.6	42.4
5年	41.7	31.0	51.3	44.8	37.3	52.1	36.1	27.9	44.2
6年	44.2	34.4	52.9	47.1	40.5	53.4	37.6	29.7	45.4
7年	45.7	36.7	53.5	48.5	43.0	53.9	39.0	31.8	46.0
8年	48.0	41.1	53.8	50.2	46.2	54.1	40.7	34.5	46.8
9年	50.8	44.9	55.9	52.5	49.4	55.4	42.5	37.2	47.6
10年	52.4	47.4	56.8	53.9	51.4	56.2	44.2	40.2	48.1
11年	52.6	49.4	55.5	53.8	52.9	54.7	45.1	42.6	47.6
12年	51.5	48.2	54.4	52.4	51.5	53.2	45.1	43.1	47.1
13年	51.5	48.4	54.3	52.0	51.2	52.7	44.8	42.8	46.9
14年	50.3	47.3	53.1	51.2	50.2	52.2	44.6	42.7	46.6
15年	51.1	48.4	53.7	51.9	51.1	52.7	45.3	43.6	47.1
16年	54.0	51.5	56.4	54.1	53.6	54.7	47.3	45.9	48.6
17年	55.6	52.7	58.4	55.7	55.1	56.2	49.3	48.1	50.6
18年	58.8	56.0	61.5	57.7	57.2	58.3	51.2	50.0	52.5
19年	59.5	55.9	63.0	58.4	57.4	59.5	52.8	51.4	54.3

付表2-3 進学先別進学者数（平成19年度高等学校卒業生）

区 分	実 数			構 成 比（％）		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総数	12,164	5,527	6,637	100.0	100.0	100.0
大学（学部）	11,136	5,460	5,676	91.5	98.8	85.5
短期大学（本科）	1,023	64	959	8.4	1.2	14.4
大学・短期大学の通信教育部及び放送大学	5	3	2	0.0	0.1	0.0
大学・短期大学の別科	-	-	-	-	-	-
高等学校の専攻科	-	-	-	-	-	-
特別支援学校高等部専攻科	-	-	-	-	-	-

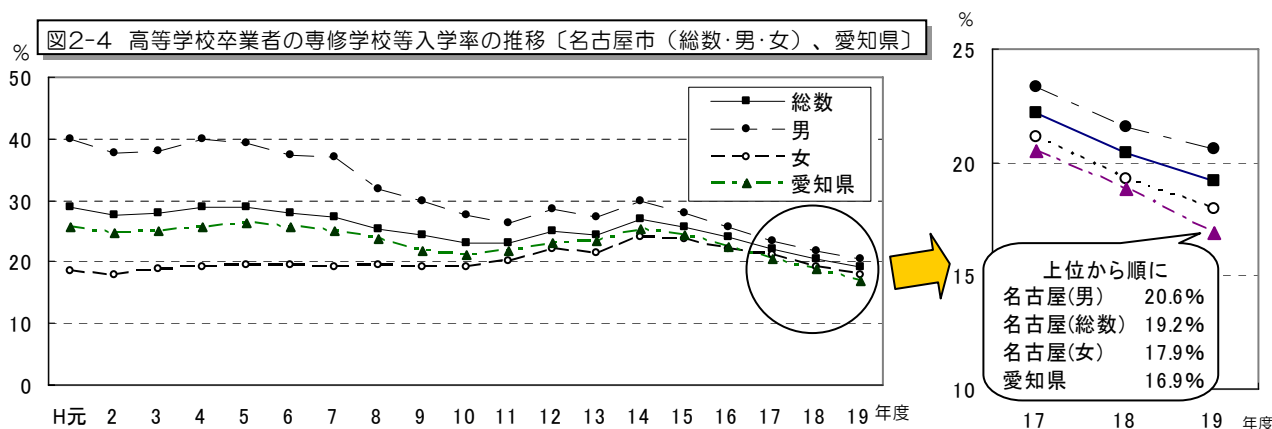
図2-3 高等学校卒業生の進学率の推移〔名古屋市（総数・男・女）、愛知県、全国〕



また、専修学校等入学者をみると、3,921人で前年度に比べ417人（9.6%）減少した。

男女別にみると、男子は2,032人、女子は1,889人となっており、専修学校等入学率は平成14年度以降男女共に減少し続けている。

[図2-4、第2表]



Ⅱ-3 就職状況 — 就職率は5年連続で上昇

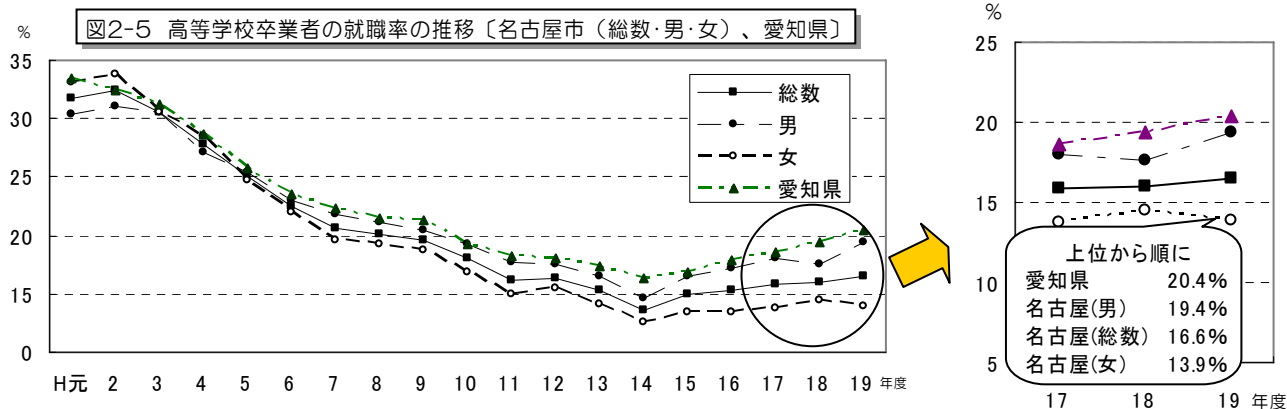
就職者総数(就職進学者、専修学校等入学者のうちの就職者を含む)は3,382人で前年度に比べ14人(0.4%)減少したが、卒業生総数に占める就職者の割合(就職率)は16.6%で前年度に比べ0.6ポイント上昇した。

男女別にみると、男子の就職者総数は1,916人で前年度に比べ87人(4.8%)増加し、就職率は19.4%で前年度に比べ1.8ポイント上昇した。女子の就職者総数は1,466人で前年度に比べ101人(6.4%)減少し、就職率は13.9%で前年度に比べ0.6ポイント低下した。

[付表2-4、図2-5、第2表]

次に、業種別にみると、製造業1,697人(構成比50.2%)、卸売・小売業543人(同16.1%)、サービス業(他に分類されないもの)219人(同6.5%)の順となっている。

[第3表]



付表2-4 高等学校卒業者の就職者、就職率の推移

年 度	名 古 屋 市			愛 知 県			
	実 数			就 職 率 (%)			就 職 率 (%)
	総 数	男	女	総 数	男	女	
平成 元年	10,357	4,895	5,462	31.8	30.4	33.1	33.4
2年	10,745	4,934	5,811	32.4	31.0	33.7	32.5
3年	10,236	4,950	5,286	30.5	30.6	30.5	31.3
4年	8,916	4,138	4,778	27.8	27.2	28.4	28.6
5年	7,574	3,644	3,930	25.1	25.4	24.8	25.7
6年	6,468	3,102	3,366	22.5	23.1	22.0	23.6
7年	5,618	2,759	2,859	20.6	21.8	19.6	22.3
8年	5,310	2,569	2,741	20.1	21.1	19.3	21.5
9年	4,848	2,353	2,495	19.6	20.4	18.8	21.3
10年	4,296	2,176	2,120	18.0	19.2	16.9	19.3
11年	3,714	1,892	1,822	16.2	17.7	15.0	18.3
12年	3,703	1,845	1,858	16.4	17.5	15.5	18.1
13年	3,539	1,825	1,714	15.3	16.5	14.1	17.4
14年	3,031	1,566	1,465	13.6	14.6	12.6	16.3
15年	3,286	1,752	1,534	15.0	16.5	13.6	16.9
16年	3,317	1,803	1,514	15.3	17.2	13.5	17.8
17年	3,443	1,934	1,509	15.9	18.0	13.8	18.6
18年	3,396	1,829	1,567	16.0	17.6	14.5	19.4
19年	3,382	1,916	1,466	16.6	19.4	13.9	20.4